



六十年の歩み

社会福祉法人 滝川市社会福祉協議会

会長 丹羽修身

滝川市社会福祉協議会は、社会福祉事業法（現在の社会福祉法）が制定された後の昭和26年7月に発足し、市内全世帯の皆様が会員として特別な理解と協力をいただきながら、市民と地域の福祉向上に傾注して60年の歴史を積み重ねて今日に至りました。

その間、幾多の世相の変遷を経ながらも社会福祉協議会本来の使命達成には行政機関のご指導は勿論のこと、各種組織団体やボランティアによる協力が支えとなって、市民はもとより地域福祉向上にご尽力をいただいていることに深く感謝とお礼を申し上げる次第です。

近年では、平成12年度から介護事業の一環として訪問介護事業を、平成15年度からは居宅介護支援事業を重要施策として取り組み、市民のニーズに呼応してまいりました。また、ボランティアセンターの再構築を行い、機能の充実に努めてまいりました。

さて、昨今は、成年後見制度や権利擁護など世相の仕組みも変わり、過去には身内同士のこととして済んでいたような内容も今日では他人様に委ねるケースも出てまいりました。本会としても避けて済ますことのできない課題として積極的に取り組んでまいる所存でございます。

こうした案件などを着実に推進するためには、これからも本会の事業推進に特別なるご理解とご協力を旧来にも増してお願ひ申し上げる次第です。

結びに、貴重な歴史の積み重ねに恥じることなく邁進することを念じつつ節目の言葉とします。